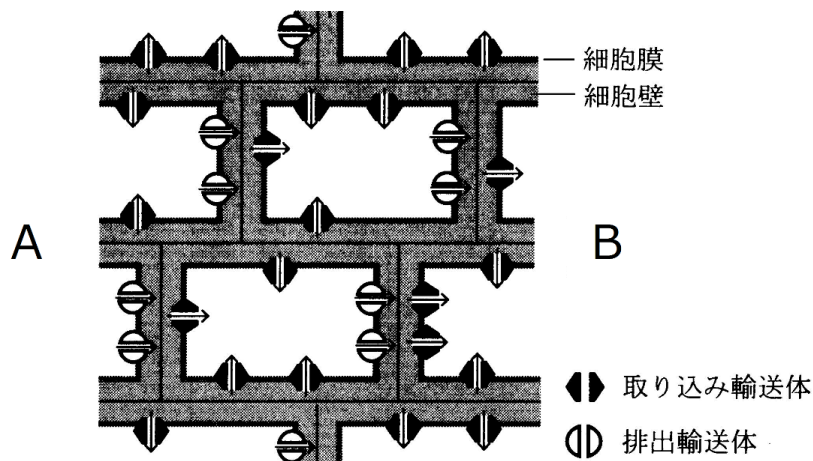


復習シート ハイレベル生物② 2学期 4回目

第13問-1 第2学期 オーキシン

問1 オーキシンの極性移動に関する次の文章中の空欄(ア～ウ)に適する語句を入れよ。また、空欄(エ～カ)には図中のAまたBのどちらか適する方を入れよ。

オーキシンは(ア)で合成されて、その後は(イ)側から(ウ)側への極性移動を示す。これは、オーキシンは、拡散または取り込み輸送体によって細胞内に取り込まれるが、排出は排出輸送体によってのみ起こるからである。下の図の場合、オーキシンは(エ)側から(オ)側へ移動することになる。また、この図が茎の一部((ア)と伸長帯の間)である場合、光が来るのは(カ)側からと考えられる。

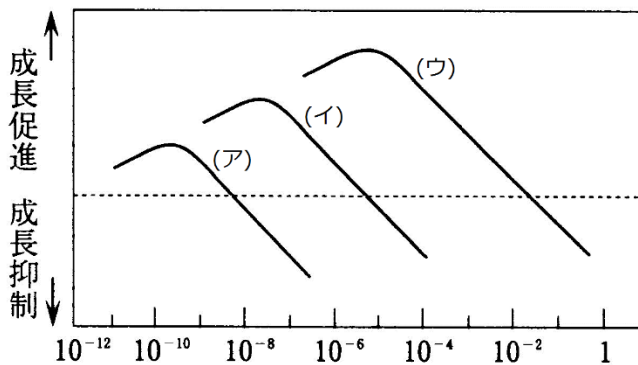


【解答】第2学期 第13問-1

問1 ア - 茎の先端(←同様の意味であれば正解) イ - 先端 ウ - 基部 エ - A
オ - B カ - A

第13問-2 第2学期 オーキシン

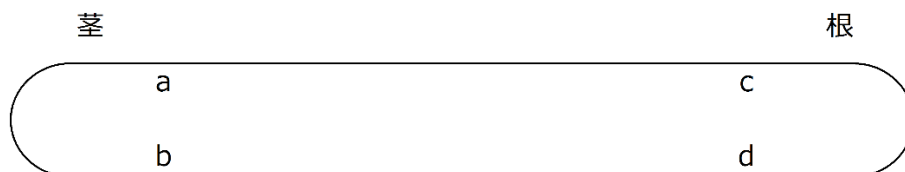
問2 オーキシンは、器官によってその感受性が異なる。図中の空欄(ア～ウ)に適する器官名を入れよ。



問3 図のように暗所で植物体を横に置いた場合の反応に関する次の文章中の空欄(ア～コ)に適

する語句を入れよ。ただし(イ・ウ・オ・カ)には図中の a～d のいずれかを入れよ。

芽は(ア)方向と反対方向へ、根は(ア)方向に屈曲するが、このような植物の反応を(ア)屈性という。これは、茎の先端で合成されたオーキシンが、植物体の下側へ移動し、茎では(イ)より(ウ)の方が細胞が(エ)し、根では(オ)より(カ)の方が細胞が(エ)するためである。つまり茎では、オーキシンにより細胞の(エ)が(キ)され、根ではオーキシンにより細胞の(エ)が(ク)されるのである。なお、「茎は(ケ)の、根は(コ)の(ア)屈性を示す」と表現する。



【解答】第2学期 第13問-2

問2 ア-根 イ-芽 ウ-莖

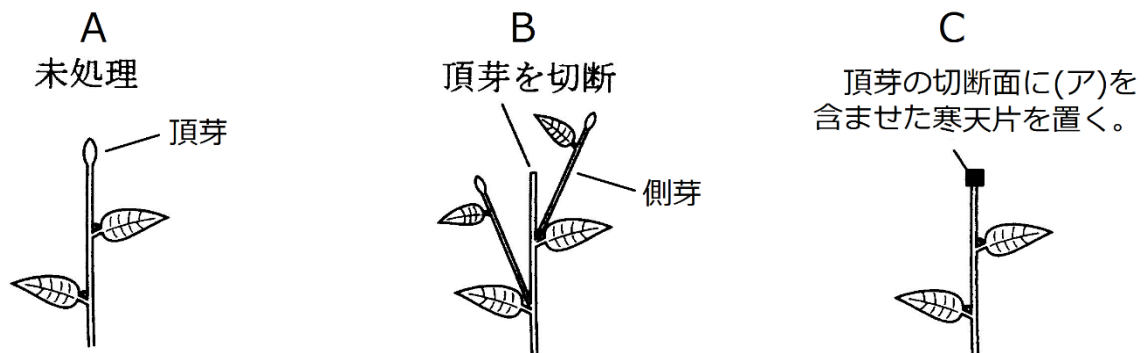
問3 ア-重力 イ-a ウ-b エ-伸長(←「成長」・「分裂」は不可)

オ-d カ-c キ-促進 ク-抑制 ケ-負 コ-正

第13問-3 第2学期 オーキシン

問4 頂芽と側芽の生育に関する次の文章中の空欄(ア~オ)に適する語句を入れよ。

Aのように未処理の場合、頂芽は、その頂芽自身が出す(ア)によって伸長する。Bでは側芽は、その側芽自身が出す(イ)によって伸長する。では、Aではなぜ側芽が伸長しないのかというと、頂芽が出した(ア)が下降し、側芽の(イ)合成を抑制するからである。植物の、このような「頂芽が側芽に優先して伸長する」性質を(ウ)という。これは、進化の過程において、植物が(エ)という資源を巡って(オ)を行う際に有利になるように獲得した性質と考えられる。



問5 問4のCでは、側芽は伸長するかしないか。

【解答】第2学期 第13問-3

問4 ア - オーキシン イ - サイトカイニン ウ - 頂芽優性 エ - 光
オ - 競争(種間競争)

問5 しない

第14問 第2学期 オーキシンその2

問1 オーキシンの作用を説明した文(1～6)中の空欄(ア～ク)に適する語句を入れよ。

1. 細胞の(ア)成長を促進する。
2. 細胞の(イ)を促進する。
3. (ウ)形成の促進。
4. 離層形成の(エ)=落葉・落果の(エ)。
5. 光屈性は、光受容体(オ)が(カ)を受容することにより起こる。
6. 代表的な天然オーキシンは(キ)、代表的な人工オーキシンは(ク)である。

問2 問1の(ウ)を説明した次の文章中の空欄に適する語句を入れよ

(ケ)を切って地面にさすと、(ケ)から(コ)が分化してくる。このような(コ)を(ウ)という。

【解答】第2学期 第14問

問1 ア - 伸長 イ - 分裂 ウ - 不定根 エ - 抑制 オ - フォトリピニン

カ - 青色光 キ - インドール酢酸(= IAA) ク - 2,4-D

問2 ケ - 茎 コ - 根

第 15 問－1 第 2 学期 いろいろな植物ホルモン

問 1 次の植物ホルモン(1～4)に関係するものを、下の①～⑩のうちからそれぞれ選び出せ。ただし、1つとは限らない。

1. ジベレリン 2. アブシシン酸 3. エチレン

- ① 気孔を閉じさせる。 ② 種子の発芽を促進する。 ③ 常温で気体である。
④ 落葉・落果の促進。 ⑤ 接触刺激によっても放出され、植物体を太短くする。
⑥ オーキシンによる細胞の成長を、茎が伸長する方向に向かわせる。
⑦ 果実の成熟促進。 ⑧ 最初は、イネのバカ苗病菌が出す毒素として発見された。
⑨ 果実の肥大を促進する(受粉なしで子房が成長する)。
⑩ 種子の発芽を抑制し、休眠を維持させる。 ⑪ エチレンを誘導する。

【解答】第 2 学期 第 15 問－1

問 1

1. ジベレリン…②⑥⑧⑨ 2. アブシシン酸…①⑩⑪ 3. エチレン…③④⑤⑦

☆ アブシシン酸は、エチレンを誘導し、そのエチレンによって落葉・落果・果実の成熟が促進される。このため、「アブシシン酸は落葉・落果・果実の成熟を促進する」と言えなくもない。

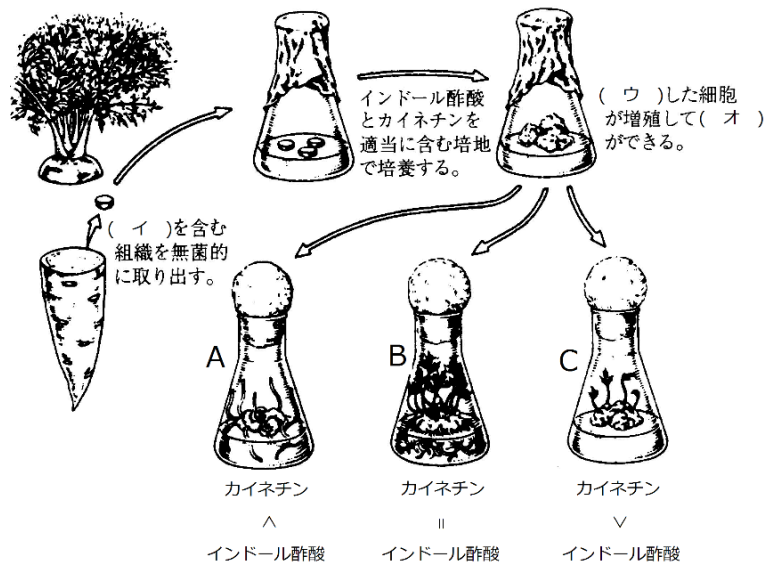
第 15 問－ 2 第 2 学期 いろいろな植物ホルモン

問 2 サイトカイニンに関する次の文章中の空欄に適する語句を入れよ。

サイトカイニンは、もともとは(ア)の分解産物として発見され、カイネチンと命名された。このうち植物体からも同様な作用を持つ物質が発見され、こちらはゼアチンと命名された。つまり、最初に人工サイトカイニンが、続いて天然サイトカイニンが発見されたのである。

ニンジン根を切断し、(イ)を含む部分をくりぬき、これをカイネチンとインドール酢酸を適当に含む培地で培養する。すると、くり抜いた組織片は(ウ)して、(エ)な細胞の塊である

(オ)を形成する。この(オ)を、A「カイネチン<インドール酢酸」・B「カイネチン=インドール酢酸」・C「カイネチン>インドール酢酸」という、2つの植物ホルモンの濃度条件で培養すると、Aでは(カ)・Bでは(カ)と(キ)が、Cでは(キ)が分化する。



【解答】第 2 学期 第 15 問－ 2

問 2

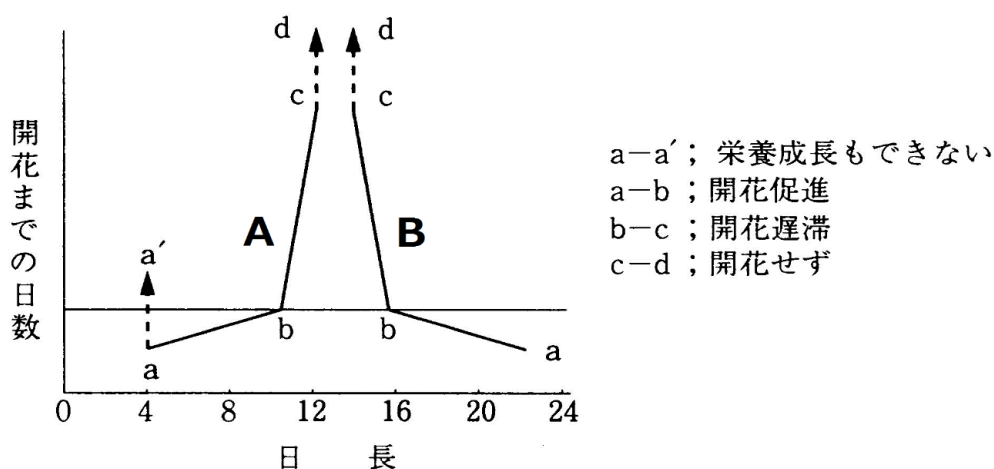
ア - DNA イ - 形成層 ウ - 脱分化 エ - 未分化 オ - カルス
カ - 根 キ - 芽

第16問 花芽形成

問1 次の文章中の空欄(ア～オ)に適する語句をそれぞれ入れよ。

植物が、花を咲かせる時期を日長の変化によって決定する性質を(ア)という。1日のうちの暗期の長さがある長さ以下になると花芽を形成する植物を(イ)植物といい、そのある長さを(ウ)という。逆に、1日のうちの暗期の長さがある長さ以上になると花芽を形成する植物を(エ)植物といい、やはり、そのある長さを(ウ)という。また(ア)を示さない植物を(オ)という。

問2 次の図は問1の(イ)植物・(エ)植物における、日長と花芽形成までにかかる日数の関係を示したものである。以下の各設問に答えよ。



設問(1) 図中のA・Bは、何と呼ばれる植物であるか。(イ)・(エ)に入る語句でそれぞれ答えよ。

設問(2) 図中の数値から考えて、A・B植物それぞれの(ウ)の長さを求めよ。

設問(3) A植物・B植物・問1の(オ)植物の例として適当なものを、次の①～⑳のうちからそれぞれすべて選び出せ。

- ① キク ② ホウレンソウ ③ アサガオ ④ ダイコン
⑤ ニンジン ⑥ ナス ⑦ アブラナ ⑧ トマト
⑨ コスモス ⑩ タンポポ ⑪ エンドウ ⑫ イネ
⑬ トウモロコシ ⑭ コムギ ⑮ アヤメ ⑯ オナモミ
⑰ サツマイモ ⑱ キュウリ ⑲ ダイズ ⑳ シロイヌナズナ

【解答】第2学期 第16問

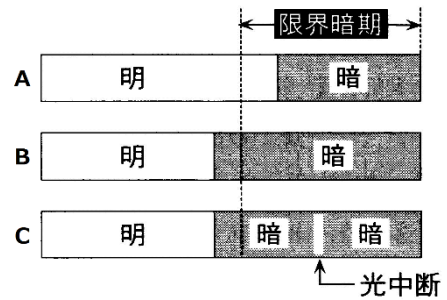
問1 ア - 光周性 イ - 長日 ウ - 限界暗記 エ - 短日 オ - 中性

問2 設問(1) A : 短日植物 B : 長日植物 設問(2) A植物 : 12時間 B植物 : 10時間

設問(3) A植物 : ①③⑨⑫⑬⑰⑱ B植物 : ②④⑤⑦⑭⑮⑲ (オ)植物 : ⑥⑧⑩⑪⑫⑬⑱

第 17 問－ 1 光中断

長日植物 X と短日植物 Y を次の条件 (A～C) で栽培した。これに関する以下の各問に答えよ。ただし、長日植物 X ・短日植物 Y の限界暗期は同じ長さであるものとする。



問 1 植物 X ・ Y それぞれは、A ・ B どちらの条件で花芽を形成するか。

問 2 条件 C における栽培に関して、光中断に用いた光が次のようであった場合、植物 X ・ Y はそれぞれ開花するかしないか。次の表の空欄に「する」または「しない」を入れよ。

	条件 C の光中断に用いた光			
	赤色光	白色光	遠赤色光	青色光
長日植物 X				
短日植物 Y				

【解答】 第 2 学期 第 17 問－ 1

問 1 植物 X : A 植物 Y : B

問 2

	条件 C の光中断に用いた光			
	赤色光	白色光	遠赤色光	青色光
長日植物 X	する	する	しない	しない
短日植物 Y	しない	しない	する	する

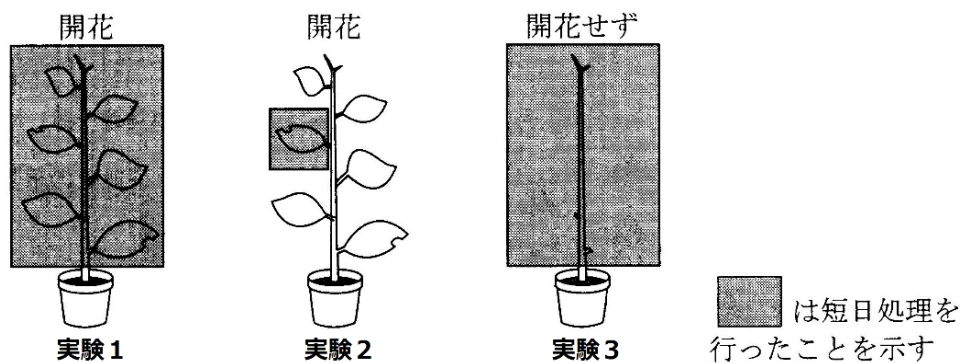
第 17 問－ 2 光中断

問 3 オナモミを用いて次の実験を行った。実験(1～3)を考察した下の文章の空欄(ア～ウ)に適する実験番号を入れよ。

実験 1：短日処理をおこなって栽培したところ、開花した。

実験 2：1 枚の葉だけを短日処理して栽培したところ、開花した。

実験 3：葉をすべて除去してから短日処理して栽培したところ、開花しなかった。



※ 短日処理：オナモミの限界暗期より長い暗期を与える処理。

[考察]

実験(ア)からオナモミは短日植物であることがわかる。暗期の長さは葉と茎のどちらで受容しているかは実験(イ)からわかる。しかも実験(ウ)から、暗期の長さは「1枚の葉だけ」でも受容できることがわかる。

【解答】第 2 学期 第 17 問－ 2

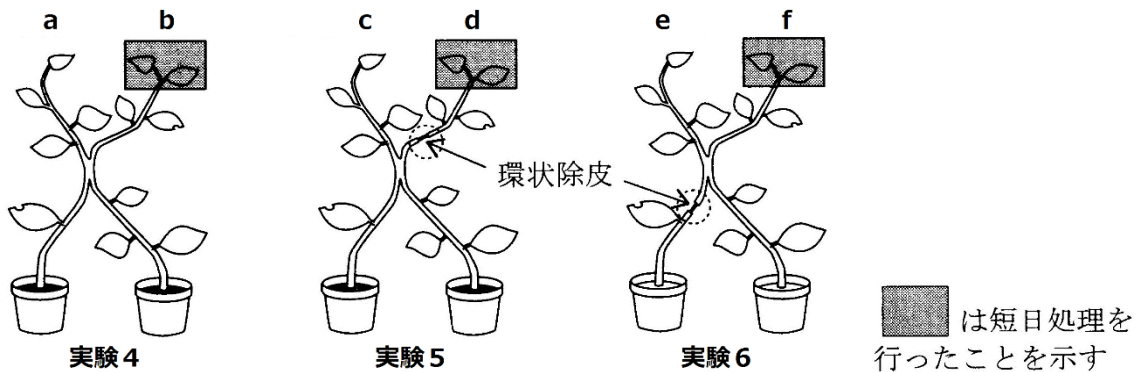
問 3 ア-1 イ-2 と 3 ウ-2

※ アは「実験 2」でもわからなくはないね。

※ イは「実験 2」だけでもわからなくはないが、「茎ではない」ことも言うためには実験 3 も必要となる。

第 17 問－ 3 光中断

問 4 オナモミを用いて次の実験を行った。実験(4～6)を説明した下の文章の空欄(ア～ウ)に適する実験番号を入れよ。



〔考察〕

- 実験 4：b の枝の葉が暗期を受容し、その葉で(ア)が合成される。その(ア)が(イ)を通過して枝 a・b の(ウ)に運ばれ、その(ウ)を花芽に分化させる。このため、枝 a と b の両方で開花する。
- 実験 5：d の枝の葉が暗期を受容し、その葉で(ア)が合成される。その(ア)が(イ)を通過して枝 d の(ウ)に運ばれ、その(ウ)を花芽に分化させる。このため、枝 d で開花する。しかし、環状除皮が行われている。これは(エ)より外側をはぎ取る処理で、これにより、(オ)は残るが(カ)はここで途切れる。このため、枝 c には(ア)が運ばれず、枝 c では開花しない。
- 実験 6：枝 f の葉が暗期を受容し、その葉で(ア)が合成される。その(ア)が(イ)を通過して枝 f の(ウ)に運ばれ、その(ウ)を花芽に分化させる。このため、枝 f で開花する。ここで、実験 5 と同様に環状除皮が行われているが、その場所が異なる。このため、枝 e にも(ア)が運ばれ、枝 e でも開花する。

【解答】 第 2 学期 第 17 問－ 3

問 4 ア-フロリゲン(=花成ホルモン) イ-師管 ウ-茎頂分裂組織 エ-形成層
 オ-道管 カ-師管